

＜釧路市小規模多機能型居宅介護事業所連絡協議会 様＞

上映日：2017/12/15(金) 場所：イオンシネマ釧路(北海道釧路市)



満席の会場



実行委員のみなさんと、受付の様子

別々の事業所が「感動」と「ケアへの意識」を共有し、その後の交流につながりました。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

小規模多機能型居宅介護事業所がモデルであること、他団体が加藤先生に公演を依頼し何度か来釧されていることから、この映画の上映は当協議会で実施しなければならないとの使命感がありました。また、担当者には“イオンシネマのシアターで研修会をしたい”という夢があったためこの映画に出会えたことは本当に必然であり、幸運でした。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

主催団体の会員事業所より担当事業所を決め、主にその委員が協力して実施しました。

●協力の得られた団体はありましたか？

上映会前に排泄介助についての研修会を開催し、オムツの製造、販売企業4社にご協力、ご協賛をいただきました。また、北海道認知症グループホーム協会に後援を依頼し、より多くの介護従事者へ上映会開催をお伝えすることができました。

●資金はどのように捻出しましたか？

「平成29年度介護従事者確保総合推進事業補助金 キャリアパス支援研修事業」を申請しましたので飲食以外のすべてを補助金で賄いました。

●地域へどのように告知をしましたか？

実行委員で分担し、釧路市内の介護事業所へパンフレット、ポスター、研修のご案内を配布しました。当日は181名にご来場いただきました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

小さな団体でもこういった研修会が開催できるのだと、実行委員の成功体験となりました。また、別々の事業所であっても同じ話題を持つことができ、感動とケアへの意識を共有し、その後の交流につながりました。

今回は楽しい研修会にしたかったので、どうせ観るなら、参加するなら、楽しみにして会場へ足を運び、映画を観るといワクワクした気持ちを持ってほしいと思いました。そのため、会館や会議室ではなく、イオンシネマで上映することにこだわりました。

イオンシネマでシアターの契約をするとき、実際に会場を見て「こんなすごい場所で研修会を開催するんだ！」とものごくテンションが上がりました。ジュースとポップコーンも外せないアイテムでした。協賛企業様とイオンシネマのスタッフの方々のご協力によって200名分を準備していただきました。ジュースとポップコーンを受けとるときの参加者の笑顔がとてうれしかったです。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

準備も、映画も楽しいです。「ケア人」を増やすためにも「ケアニン」を多くの方に観てもらってください。

ご担当者：
釧路市小規模多機能型居宅介護
事業所連絡協議会
辻野忍さん